

## 厳粛な中にも温かさが満ちた内定式

2025年10月1日、中央可鍛工業株式会社の日進工場にて、2026年4月入社予定の大卒者の内定式が執り行われました。

加藤専務執行役員をはじめ、荒川執行役員、窪田執行役員、伊藤執行役員といった経営層が出席する中、内定式は厳粛な雰囲気スタート。荒川執行役員による開会宣言に続き、加藤専務執行役員から内定証書が一人ひとりに授与されました。内定者たちは、緊張感のある面持ちで証書を受け取り、未来への第一歩を踏み出しました。



## 執行役員からの未来に向けた「エール」:経営層との近さが魅力

中央可鍛工業様の魅力の一つである「従業員同士の関係性が深く、マネジメントと従業員の距離が近い」という企業文化は、内定式でも存分に発揮されました。執行役員の皆さまは、非常に親しみを感じる口調で、内定者への期待と励ましのメッセージを送りました。

窪田執行役員は、柔和な口調で内定を祝福し、社会人としての「挑戦」と「学びの機会」の重要性を説かれました。「必ず何らかの壁にぶち当たるが、それを乗り越えた時に自己成長がある。ぜひいろいろなことにチャレンジして自身のスキルを高め、将来会社を支える人材になってほしい、ともにチャレンジしていこう」と、前向きな姿勢を促しました。

熊本工場から参加された伊藤執行役員は、新生活への不安に寄り添いつつ、「会社に入って仕事することに不安を感じることもあると思うが、しっかりと育てていくのでまずは学生としてしっかり勉強し、交友を深め、4月から仕事をしていこう」と、安心して入社準備に励むよう呼びかけられました。

最後に加藤専務執行役員は、「内定おめでとう。前提は卒業なので、必ず卒業してね」と、内定者の心身の健康を気遣う言葉から始まりました。続けて、「AI時代も相まって、なんでも人に聞いたら教えてくれる時代になってきたが、ぜひ残りの学生生活で自分で考えることを心がけてほしい」と、本質的な力の重要性を説かれました。そして、今年の本社のキーワードとして「まずやってみる」を挙げ、主体的な行動を促し、「4月にお待ちしています」と強く結ばれました。

## 新しい仲間たちの自己紹介：個性と専門性を活かす場へ

続いての内定者による自己紹介では、それぞれの個性と入社への強い意気込みが示されました。ある学生は、これまでの経験から得た「相手の立場に立って考えるしなやかさ」と「コミュニケーション」を活かしたいと抱負を述べました。また、「どんな仕事も積極的にものにして貢献したい」という意欲を示す学生や、「研修を通じて自分の勝負所を見つけ、育ってきた地域に恩返しできるように頑張りたい」と地域への貢献を志す声もありました。さらに、大学で学んだ「鋳造や金属に関する知識」を活かしたいと専門性をアピールする学生、様々な視点から物事を見る大切さを活かして「会社をより良くしていきたい」と願う学生、そして「機会の知識」を生かして技術者として積極的に仕事に取り組んでいきたいと語る学生など、多岐にわたる強みと熱意が感じられました。

## 採用活動の進化がもたらした「広がり」と「多様性」

中央可鍛工業様は、市場の変化に対応するため、新卒採用活動をさらに進化させ、採用力の強化に主体的に取り組んでまいりました。

従来の採用手法に加え、スカウトツールを積極的に活用した施策や、学生の利便性を高めるオンライン面接の導入など、戦略的な手法を取り入れました。特に、学生が会社の雰囲気や仕事についてフラットに情報収集できる先輩社員との面談機会を新設したことは、学生の企業理解とエンゲージメントを深める上で大きな効果を発揮しています。

こうした自社主導の取り組みは実を結び、全国の優秀な学生との出会いを格段に増やし、多様なバックグラウンドを持つ人材の採用に成功いたしました。今回の内定式に集った面々は、この採用戦略の成功と、同社が求める「多様な視点」の獲得を証明しています。中央可鍛工業様は、より優秀で会社にフィットする学生を採用するための努力を継続されています。

## 内定者への期待と入社への準備

内定式終了後、採用担当者からは今後の内定者同士のコミュニケーションに関する説明が行われました。また、入社式までの重要なミッションとして、入社式での答辞を内定者同士で協力して決めるという機会が与えられました。これは、入社前からチームワークと主体性を育む、同社らしい工夫です。

加えて、入社後の安心した生活をサポートするための福利厚生面についての案内も丁寧に行われました。今回の内定式に集った未来の仲間たちは、「まずやってみる」というキーワードを胸に、今後、同社の確かな技術と温かい社風の中で大きく成長していくでしょう。来春、フレッシュな挑戦者たちが入社し、中央可鍛工業様の未来を築く重要な担い手として活躍されることを心から期待しています。